

ゼロ

0から創る奈良

2013.3.29.FRI

vol.65

市民が主役の奈良市政をめざします。

topic 女性管理職は1.5倍に、さらに若手登用で組織を活性化

2013年3月29日 仲川げん後援会

仲川げん

書:紫舟



奈良市では先日、管理職295名を含む計911名の異動を発令しました。今回の異動にあたっては、単なるローテーションではなく、①限られた人員の中で組織が一丸となって効率的・効果的に動ける体制の確保、②女性や若手職員の積極登用、③新たな市民ニーズへの柔軟な対応の3本を柱として取り組みました。まず①については部長級の「統括官」を新設し24名の部長級職員の取りまとめを担い、縦割り組織に横串を挿すことにします。これは部長と副市長の間のポストであり、民間企業で言うところの専務にあたります。次に②としてはまず、他市より圧倒的に遅れてきた女性登用をさらに進め、管理職に占める女性比率を11.8%に引き上げました。ちなみに私の就任前は7.5%でしたので大きく改善しています。一方、全職員に締める女性比率は13.2%ですので、さらなる改善に取り組みます。また従来は課長の平均年齢が56歳、部長は退職間際にしかなれないと言われ、管理職としての経験を活かせぬまま、定年を迎える事が多いという問題がありました。そこでここ数年は各ポストに昇格できる年齢条件を緩和し、有能な人材は若くても積極登用する道を開いています。最後に③では、新斎苑やクリーンセンターなどの喫緊の課題に対応する専門部署の設置や、新エネルギーや奈良町振興、攻める農業といった新たなニーズに対応する組織を設けました。特に、従来乏しかった「稼ぐ自治体」としての機能強化を図り、経済活性化や税収増につなげて行きたいと思えます。

市長ブログ、更新中！

市長ブログでは、市政の動きやマニフェストの進捗状況、その他諸々、更新していきます！

携帯からもご覧いただけます。→

市長の日常をより身近に

ツイッター始めました。→ @nakagawagen

<http://www.nakagawagen.net/blog/>



プロフィール

1976年生まれ。北大和（現奈良北）高校卒。立命館大学経済学部卒業。国際石油開発帝石（株）及び奈良NP0センターでの勤務を経て2009年7月、脱利権・脱ムダを訴え33歳で奈良市長に当選。マニフェストである「行政のムダゼロ」「生活の不安ゼロ」「観光の渋滞ゼロ」をはじめ、入札制度改革や事業の見直し、民間委託の推進などにより就任3年で約67億円のコストカットを実現。市長退職金の不支給や外郭団体の整理統合、各種手当の大幅減額や廃止等、徹底したムダの排除に取り組んでいる。2011年「日本を立て直す100人」（AERA）に選ばれる。二児（3歳と0歳）の父として、子どもや孫の世代に責任の持てる政治をめざす。

<http://www.nakagawagen.net/>

Email: info@nakagawagen.net

3月後半の活動報告

14日(木)【幼稚園卒園式】子ども条例シンポ・新斎苑建設問題・奈良オリエンタルフェスほかMTG、答弁調整
15日(金)【中学校卒業式】答弁調整、人事
16日(土)私用
17日(日)奈良ちびっ子野球愛好会開幕式@西部球技場、答弁調整、人事
18日(月)庁議、【3月定例会】予算決算委員会(市長総括質疑)、リニア中間駅誘致イベントほかMTG
19日(火)【小学校卒業式】月ヶ瀬行政センター・ガバナンス推進課ほかMTG、観光庁参事官ほか来訪
20日(水)生誕100年 杉岡華邨展オープニング@大阪高島屋、グリーンセンター住民説明会@左京地区自治連合会
21日(木)月ヶ瀬梅林公園完成記念式典、ガバナンス監視委員会、人事ほか
22日(金)市民参画及び協働によるまちづくり審議会打合せ、水道局・産業廃棄物対策課ほかMTG、【3月定例会】閉会(討論・採決)
23日(土)佐保川ミニバス女子全国大会出場壮行会、大安寺地区戦没者追悼法要、ミニ集会@肘ノ塚
24日(日)大安寺西地区防災訓練、市立看護専門学校オープニングセレモニー、第17回春咲きコンサート@100年会館
25日(月)全国中学選抜卓球大会、奈良YMCA善意通訳協会総会、奈良町大西家住宅ほかMTG、会合
26日(火)庁議、人事異動内示、超小型EV車寄贈式@ならまち、奈良・奈良西警察署長ほか挨拶、武雄市連携事業ほかMTG
27日(水)市町村対抗子ども駅伝優勝報告、震災被災者への家屋提供者感謝状授与式、プレミアム商品券による義援金贈呈式
28日(木)被災地等への派遣職員発令、定例記者会見、平成24年度包括外部監査報告、市長と気軽にトーク、中室教育長ほかMTG

攻める農業

新年度の組織改編でも挙げましたが、農林課の中に新たに「攻める農業係」を新設する事にしました。これまでの農政と言えば補助金を前提とした保護志向の強いイメージがありますが、安部政権においても重点事業と位置付けられているように、いわゆる6次産業化や海外市場への積極的な展開が必要な時代にきています。奈良市においても地元で採れた農産物を地元で消費する「地産地消」だけでなく、大和野菜やヤマトポーク、大和肉鶏などのブランド食材や、お茶や日本酒、米、いちごといった新たな戦略商品を普及させ、地元農業と経済成長につなげたいと考えています。

先日、ベルリンで開催された世界最大の観光博覧会でも、本市の職員が大和茶と地酒を持ち込み、ドイ

ツの日本食レストラン等へのセールス活動を仕掛けてきました。また米に関しては奈良県産のヒノヒカリが3年連続で最高位の特Aランクを獲得するなど、評価が高まっています。農業の後継者育成は勿論の事、観光面でも食の魅力は大きな効果があると考えています。新しい「攻める農業係」では、農家だけでなく流通・観光・メディア等、幅広い分野と連携しながら、奈良の魅力向上に取り組んで参ります。



後援会からのお願い

毎週金曜日(午前7時~8時)は朝立ち(駅頭演説)を続けています。市民のみなさんと直接出会える貴重な機会だと思い、市政報告やニュースレターの手渡しをしています。配布&運転ボランティアを募集中です。1回でもかまいません。ご協力をお願いします。詳しくはチラシを配布している後援会スタッフか、事務局までお知らせください。

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。「市長への手紙」に関してのお問い合わせは、市広報聴課まで。

仲川げん後援会

<http://www.nakagawagen.net/>
Email info@nakagawagen.net
FAX 0742-26-0398

ご意見を

奈良をこんな街にしたい、こんなことで困っているなどのご意見がありましたら、どんな小さなことでもお聞かせください。暮らしやすい街を一緒に創っていきましょう!

